

【がん種】 [乳癌](#)
【レジメン名】 S-1
【登録番号】 100134
【1コースの期間】 6週間
【投与間隔調整規定】 【コース間】-2日
【総コース数】 進行・再発:PDまで
【催吐性リスク】 軽度:ティーエスワン
【抗がん剤の組織障害性】 -
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、疲労、流涙、間質性肺炎、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚異常、下痢、便秘

【必要な検査】 一般採血
【根拠論文】 Jpn J Cancer Chemother 25:1035-1043, 1998. Jpn J Cancer Chemother 31:539-547, 2004. Lancet Oncol 17:90-98, 2016.

【点滴の時間】 -
【その他】 ティーエスワン投与量:BSA<1.25m²:80mg/日, 1.25m²≤BSA<1.50m²:100mg/日, BSA≥1.50m²:120mg/日.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	...	28	...	42
1	ティーエスワン配合OD錠	80 mg/m ² /日	内服	1日2回朝夕食後	○	○	○		

【S-1減量・休薬・中止基準】

Lancet Oncol 2016; 17: 90-98. プロトコール. Lancet Oncol 2021;22:74-84. プロトコール.

減量 ティーエスワン 60mg/日：朝20mg, 夜40mg

減量	ティーエスワン		
開始量	120mg/日	100mg/日	80mg/日
1段階	100mg/日	80mg/日	60mg/日
2段階	80mg/日	60mg/日	50mg/日
3段階	60mg/日	50mg/日	40mg/日
4段階	中止	中止	中止

有害事象	Grade	用量調整
白血球減少	3	Grade1以下になるまで治療を延期する。
	4	Grade1以下になるまで治療を延期し、再開時にはティーエスワンを1段階減量する。
好中球数減少	3	Grade1以下になるまで治療を延期する。
	4	Grade1以下になるまで治療を延期し、再開時にはティーエスワンを1段階減量する。
貧血	3~4	Grade2以下になるまで治療を延期し、再開時にはティーエスワンを1段階減量する。
血小板数減少	2	Grade1以下になるまで治療を延期する。
	4	Grade1以下になるまで治療を延期し、再開時にはティーエスワンを1段階減量する。
非血液毒性	2	Grade1以下になるまで治療を延期する。
	3~4	Grade1以下になるまで治療を延期し、再開時にはティーエスワンを1段階減量する。